



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 株式会社宇徳  
コード番号 9358 URL <https://www.utoc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田邊 昌宏

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 古山 貴一

TEL 03-5769-3797

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	44,175	6.3	2,546	15.4	2,822	18.7	1,884	26.5
30年3月期第3四半期	41,566	12.7	2,207	17.7	2,377	18.0	1,489	5.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,690百万円 (2.9%) 30年3月期第3四半期 1,740百万円 (41.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	43.58	
30年3月期第3四半期	34.45	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	42,202	31,476	74.4	726.28
30年3月期	41,479	30,218	72.7	697.22

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 31,409百万円 30年3月期 30,152百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		10.00	10.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	3.8	3,200	0.5	3,500	2.1	2,300	2.8	53.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	43,448,099 株	30年3月期	43,448,099 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	200,786 株	30年3月期	200,715 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	43,247,362 株	30年3月期3Q	43,247,427 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は米中間の貿易摩擦の激化、欧州の政治情勢を巡る不透明感、中国の弱めの経済指標など、その先行きの不確実性を意識させられることが生じましたが、総じてみれば経済のファンダメンタルズに大きな変化はみられず着実な成長が続きました。わが国経済は極めて緩和的な金融環境の下、輸出は増加基調にあり、業況感も良好な水準を維持するなど、企業収益は堅調に推移し、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、振れを伴いながらも緩やかに増加した個人消費も相俟って、景気の拡大基調が続きました。

当社を取り巻く事業環境としては、京浜港（東京港・横浜港）全体での外貿コンテナ取扱数が緩やかに増加し、輸出では完成車台数や建機、産業機械の出荷額が増加しました。また、当社プラント・物流事業領域の一つである国内橋梁工事では、公共インフラストラクチャーの更新需要が継続しました。

このような経営環境の中、当社グループは効率的な事業運営を推し進めた結果、セグメント別の業績は次のとおりとなりました。

上段：営業収入 下段：経常損益 (単位：百万円)

セグメントの状況	前第3半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	増減額	増減率
港湾事業	17,612	17,617	5	0.0%
	1,856	1,662	△194	△10.5%
プラント・物流事業	23,595	26,158	2,562	10.9%
	461	1,072	610	132.3%
その他	358	399	41	11.5%
	59	87	28	47.9%

## ① 港湾事業

当社コンテナターミナルでのコンテナ取扱量は概ね回復基調に入りましたが、引き続き前年同期の実績を下回りました。このため、堅調が続く車輛・建機輸出需要の下、自動車専用船・RORO船荷役などの非コンテナ貨物取扱いを伸ばしましたが、事業全体として、ほぼ前年並みの収入を確保したものの、利益は減少しました。

## ② プラント・物流事業

プラント部門では、工事が遅延していたマレーシアでの石油化学プラント設備の組立工事について、ほぼ完工の目処を立てることができ、さらに追加工事を受注したことが当期業績に大きく寄与しました。国内では、多軸台車（スーパーキャリア）による省スペースで機動性が高い工法を活かした国内橋梁運搬・架設工事の実績を順調に積み上げました。物流部門では重量物輸送や工作機械等を中心に取扱量を伸ばすことができましたが、港湾地区の慢性的な道路渋滞は著しく、車輛回転率の低下による下払い費用の増加をはじめ、コスト上昇圧力が強まりました。事業全体では、前年同期固有の会計処理（貸倒引当金309百万円の計上）を踏まえても、増収増益を確保しました。

## ③ その他

自社ビル等不動産の賃貸等があります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収入は441億7千5百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は25億4千6百万円（同15.4%増）、経常利益は28億2千2百万円（同18.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億8千4百万円（同26.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は422億2百万円となり、前連結会計年度末比7億2千2百万円の増加となりました。主な要因は、関係会社短期貸付金が17億9千7百万円、投資有価証券が1億8千3百万円、繰延税金資産（投資その他の資産）が2億7百万円、その他流動資産のうち前渡金が1億1千2百万円減少した一方、現金及び預金が7億5千9百万円、受取手形及び営業未収入金が16億3千7百万円、有形固定資産が6億6千5百万円増加したことによるものです。

負債は107億2千5百万円となり、前連結会計年度末比5億3千5百万円の減少となりました。主な要因は、未払法人税等が5億7千4百万円、賞与引当金が3億3千5百万円、その他流動負債のうち未払金が1億9百万円減少した一方、支払手形及び営業未払金が5億2千3百万円、その他流動負債のうち預り金が1億4千8百万円増加したことによるものです。

純資産は314億7千6百万円となり、前連結会計年度末比12億5千7百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が14億5千2百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえて、平成30年4月27日「平成30年3月期決算短信」で公表しました営業収入および営業利益以下の各利益に係る通期業績予想を見直しました。なお、通期業績予想の見直しに伴い、期末配当金の取扱いについて、さらなる検討を取り進めてまいります。

また、下記業績予想は本資料公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

連結業績予想（平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日）

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 57,800	百万円 2,900	百万円 3,200	百万円 2,100	円 銭 48.56
今回発表予想（B）	58,000	3,200	3,500	2,300	53.18
増減額（B－A）	200	300	300	200	
増減率（％）	0.3％	10.3％	9.4％	9.5％	

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,421,638	4,181,583
受取手形及び営業未収入金	9,640,888	11,278,221
貯蔵品	74,868	90,464
関係会社短期貸付金	9,823,620	8,025,634
その他	1,316,022	1,323,519
貸倒引当金	△117,151	△120,399
流動資産合計	24,159,887	24,779,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,171,593	3,971,510
機械装置及び運搬具(純額)	2,039,017	2,563,458
工具、器具及び備品(純額)	325,270	294,094
土地	2,665,124	2,609,544
リース資産(純額)	301,265	239,915
建設仮勘定	295,410	784,738
有形固定資産合計	9,797,681	10,463,262
無形固定資産		
借地権	1,699,457	1,699,457
のれん	409,488	338,092
その他	444,272	367,801
無形固定資産合計	2,553,218	2,405,351
投資その他の資産		
投資有価証券	2,362,664	2,178,850
長期貸付金	666,000	666,000
繰延税金資産	1,129,686	922,159
その他	1,136,329	1,116,025
貸倒引当金	△325,675	△328,570
投資その他の資産合計	4,969,003	4,554,464
固定資産合計	17,319,903	17,423,078
資産合計	41,479,791	42,202,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,971,831	4,495,322
短期借入金	663,300	668,550
1年内返済予定の長期借入金	27,680	28,080
リース債務	153,058	123,487
未払法人税等	775,517	201,235
未払費用	400,244	428,349
賞与引当金	806,579	470,817
役員賞与引当金	80,364	46,200
その他	867,760	913,187
流動負債合計	7,746,336	7,375,229
固定負債		
長期借入金	48,440	28,079
リース債務	194,355	149,888
繰延税金負債	6,218	5,793
役員退職慰労引当金	230,660	168,267
退職給付に係る負債	2,770,095	2,723,129
資産除去債務	55,098	55,628
その他	209,662	219,163
固定負債合計	3,514,530	3,349,951
負債合計	11,260,867	10,725,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,155,300	2,155,300
資本剰余金	330,659	330,659
利益剰余金	26,202,198	27,654,316
自己株式	△30,491	△30,527
株主資本合計	28,657,667	30,109,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	911,157	769,341
為替換算調整勘定	635,413	575,904
退職給付に係る調整累計額	△51,497	△45,213
その他の包括利益累計額合計	1,495,073	1,300,032
非支配株主持分	66,183	67,139
純資産合計	30,218,924	31,476,920
負債純資産合計	41,479,791	42,202,101

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収入	41,566,101	44,175,397
営業費用	32,731,976	35,301,766
営業総利益	8,834,124	8,873,630
販売費及び一般管理費	6,626,259	6,326,724
営業利益	2,207,865	2,546,906
営業外収益		
受取利息	29,739	27,291
受取配当金	60,015	75,894
受取賠償金	41,592	60,445
受取賃貸料	48,021	32,339
その他	57,453	92,076
営業外収益合計	236,823	288,046
営業外費用		
支払利息	8,662	8,275
持分法による投資損失	47,738	—
為替差損	10,279	1,031
その他	214	2,867
営業外費用合計	66,894	12,174
経常利益	2,377,793	2,822,778
特別利益		
固定資産売却益	7,139	31,175
投資有価証券清算益	—	17,205
ゴルフ会員権売却益	310	—
受取賠償金	80,111	—
特別利益合計	87,561	48,381
特別損失		
固定資産除売却損	2,464	8,267
ゴルフ会員権売却損	7,930	281
ゴルフ会員権評価損	9,576	4,178
特別損失合計	19,971	12,727
税金等調整前四半期純利益	2,445,383	2,858,431
法人税、住民税及び事業税	827,922	709,774
法人税等調整額	127,692	264,064
法人税等合計	955,615	973,839
四半期純利益	1,489,768	1,884,591
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,489,768	1,884,591



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,489,768	1,884,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174,557	△141,815
為替換算調整勘定	92,412	△58,553
持分法適用会社に対する持分相当額	△23,274	—
退職給付に係る調整額	7,414	6,284
その他の包括利益合計	251,110	△194,084
四半期包括利益	1,740,878	1,690,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,738,201	1,689,550
非支配株主に係る四半期包括利益	2,677	956

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。